

水道管の凍結を防ぐには

こんなときに水道管は凍結します！

- ・最低気温が -4°C 以下になるとき
- ・気温が一日中氷点下になるとき

水道管が凍結すると・・・

管の中の水が凍って、体積が膨張して水道管の破損や破裂することがあります。



凍結しそうなときは、
「水抜栓」の操作をお願いします！

「水抜栓」とは、凍結しないように水道管の水を抜くための装置です。
凍結が予想されるときは、あらかじめ水抜栓を操作して、水道管の凍結を予防しましょう。

<一般的な水抜栓の使い方>

■手動式の場合

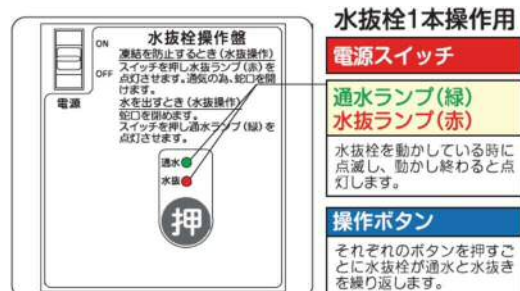
凍結を防止するとき(水抜き操作)

- ① 水抜きハンドルを、“水抜”方向(右回り)に止まるまで回します。
- ② 室内のすべての蛇口を開けてください。立ち上がり管内に空気が入り、蛇口を開けても水が出ない状態になります。
- ③ 水抜きが終わったら、蛇口を閉めてください。

水を使うとき(通水操作)

- ① 室内のすべての蛇口が閉まっているか、確認してください。
- ② 水抜きハンドルを“通水”方向(左回り)に止まるまで回します。通水状態になります。
- ③ 蛇口を開けて、水をお使いください。

■電動式の場合



※文字、デザイン、色などは、製品によって異なる場合があります。

・水抜きをする時期 冬期間(12月～翌年3月頃)

～凍結の心配がある時には以下の手順で操作してください。～

①電源スイッチをONにしてください。

②通水ランプ(緑)が点灯しているときは、水を出しながら操作ボタンを押して、水抜ランプ(赤)の点灯を確認してください。(空気の導入の為、蛇口は開けたままにしておきます。水は止まります。)

③水を出したい時は、全ての蛇口を閉めた後操作スイッチを押して、通水ランプ(緑)の点灯を確認してください。

・水抜きをしない時期 春・夏・秋期間(4月～11月頃)

水道の凍結の心配はありませんので、通水ランプ(緑)の点灯を確認の上、電源スイッチをOFFにしてください。(電源をOFFにしても水が止まる心配はありません。)

※水抜栓が設置されている場所をご家庭によって異なりますので、凍結が予想される前に場所を必ず確認してください。

■もしも水道管が凍結してしまったら？

蛇口を開けた状態にしてタオル等でおおい、その上からゆっくりぬるま湯を繰り返しかけて解水してください。熱湯をかけると破損する危険がありますので、絶対にかけないでください。

■解水できない、または水道管が破損、漏水してしまったら？

解水できない場合、また水道管が破損、漏水した場合は多賀城市指定給水工事事業者(8～10ページ)に修繕を依頼してください。修繕にかかる費用はお客様の負担となります。